

# ケアパートナー



ケアパートナーという仕事をご存じですか。

ケアパートナーとは介護事業所等において、食事介助、排せつ介助等の身体介護を伴わない、介護職員の補助業務を担当します。一般的には介護助手と言いますが、岐阜県では親しみを込めてケアパートナーと呼んでいます。

具体的にどのような業務を担当するのか、どんなやりがいがあるのかなど、岐阜県多治見市にある介護老人保健施設メモリアル光陽でケアパートナーとして働く若尾さん(69)にお聞きしてきました。

### ケアパートナーという職に就いたきっかけは？

私には90歳を過ぎた母がおり、デイサービスにお世話になっています。それもあってか、以前から高齢化社会や高齢福祉に関心があり、手助けが必要な方に対して、直接目に見えるような格好で人に役立つ仕事を…と仕事を探しました。

介護職員は身体介助があって大変ハードな仕事ですが、介護助手は介護職員をヘルプして、なおかつ入居者に喜んでいただける仕事だということで、これだったらできるかなと。

ちょうどそのようなことを考えていた頃に、運よく岐阜県主催のケアパートナー養成講座の募集を新聞の折り込みチラシや広報で知り、5日間(事前説明会含む)25時間ほど介護の勉強をさせていただきました。また他にも地元の大学で介護に関するボランティア講座があったので参加しました。

そうやって勉強をして、介護の仕事がどのようなものか、介護の世界がどういうものかを理解した上で改めて働いてみたいと思ったので、ケアパートナー養成講座最終日に行われた就職相談会に参加されていたメモリアル光陽さんに就職相談と面接をしていただいて、働くことになりました。

### 再就職を希望した理由は？

66歳までサラリーマン生活をし、その後3年ほどパートで事務職をしていました。まだまだ元気なのでもう少し働いてみたいと思ったことと、人と接するのが好きなものですから、次は人と接する仕事、それも不特定多数ではなく、顔見知りになれるような職場で働きたいと思っていました。

### どのようなペースで働いていますか？

この3月に採用され、4月から正規雇用となり、6月までは木、金、土の週3日間、7時半から11時半までの4時間で働いてきました。朝早くに起きてこちらに来て働き、お昼前には帰れるので、午後には自分の好きなことがなんでも自由にでき、私としては最高のサイクルです。それに3日間働いて、なおかつ4日間お休み。お休みもたっぷりですよ。

そうやって実際に働きだして仕事にも慣れ、もう少しやれるなと感じたので、人事担当の方と相談し、この7月からは勤務日を1日増やし、木、金、土、日の週4日間、同じく7時半から11時半までの4時間で働くことになりました。ケアパートナーは身体介助を伴わない仕事ですし、1日4時間の勤務なので体力的にも楽です。

そして他の施設ではどうか分かりませんが、ここでは自分に合った仕事量を考慮してもらえ、また1日や1週間の間でどのように仕事をするのかについても任せていただけています。その与えられた仕事の殆どは一人で担当するので、自分で工夫をして時間に追われずに働くことができ、ストレスがありません。

ストレスがない仕事なんてなかなかないですよ。良い職場に恵まれました。

### この仕事のやりがいや良いところは？

入居者の方達から「ありがとう、ありがとう」という言葉を直接いただけ、ちょっとは役に立っているのかなと思えて気持ちよく働けることですね。それと「若尾さん、若尾さん」と名前を呼んで声をかけてもらえ、直接人とやり取りできる仕事を選んでよかったです。

### シニアになっても働くという事についてどうお考えですか？

#### また働くことを悩んでいる方に一言お願いします。

シニアになっても働くという事は、“やりがい”、“生きがい”です。働いていると、別の業種であっても働いている友人とは話が合うこと、そして生活のリズムができること、働いた後のお休みが貴重に感じられることもいいですね。

働いた分の収入があるということもありがたいのですが、かといって時給が高いという点を重要視して仕事を選んではいけないとも思います。業務内容や業務量、勤務時間等、時給だけでは測れないこともありますよね。この年になると1日8時間働いて1日休むより、4時間を2日働く方がちょうどいいんです。仕事を選ぶ時にはそういったことをよく吟味しないとイケないと思います。

それと「高齢になったから私なんか…」という人には、「65歳を過ぎると事務の求人は確かにぐっとなくなりますが、働ける場所は他にもたくさんありますよ。」と伝えたいです。

また、どんな仕事でも仕事というのは役に立つものなのですが、人と接する仕事が苦手な方であれば黙々と一人でやる仕事より、こうやって目に見えて役に立つ介護の世界での仕事は、やっていて充実感があり楽しいのでお勧めですよ。

### 〈介護老人保健施設メモリアル光陽の人事担当の方にお聞きしました〉

#### 人事担当者にとってケアパートナーは？

メモリアル光陽は25年経っており、老健では多治見市内で一番の老舗です。

老健というのは看護、介護、リハビリ等色々なセクションの専門職の集まりです。

当施設はそれぞれの専門職はその専門に専念してもらいたいと考え、そのためには漫然と従来の運営をしてはいけない、新しいものに切り替えていこうと色々取り組んでいる最中です。例えば調理業務を外部に委託したり、入居者の衣類についてもレンタル衣類に切替えたり。そうすると衣類の間違いなどは起こらず、サイズ確認すれば良いだけになります。

専門業務以外について介護助手の方にお手伝いをしてもらうというのも改革の一つで、令和4年のケアパートナーの養成講座を通じて令和5年は3名の方に来ていただきました。

ケアパートナーの方々に勤務をお願いしているのはちょうど夜勤と日勤の狭間の時間帯で、どうしても人数も手薄になる時なので本当に助かっています。また日曜日は専門職の皆さんも休みたい曜日なので、日曜日にも出勤してくださるケアパートナーの方には重ね重ねありがたいと思っています。

## 〈勤務日の若尾さんの1日のスケジュール〉

### 起床(5:30)

夫婦共に早起きは得意なので、朝の早い仕事でも問題ありません。

### 出勤(6:50)

車で通勤

### 施設周辺の清掃(7:30~)

駐車場や公道の落ち葉やペットボトル、たばこの吸い殻等のゴミを拾ったり、敷地内の雑草取りをしたりします。

### 朝食の配膳・下膳(8:00~)

入居者の健康状態によって、ご飯、パン、お粥、みそ汁、とろみのついたお汁等、食事内容が違うため、トレイに書かれた名前を見て間違えないよう気を付けながら、担当する入居者40名分の朝食を複数名で配膳します。

また健康な方、食後に薬を飲む方、食べた量をチェックする必要がある方が混在するので、介護職員さんの対応に合わせてタイミングを見ながら下膳をします。

下膳後には残飯処理をし、同じ種類の容器毎に分け、回収カゴに集めます。

### 配茶とお茶容器の片づけ

洗浄したお茶容器にお茶を入れ、零れないよう蓋をして居室に配り、昨日の配茶した容器を回収します。居室から回収したお茶容器をきれいに洗浄し、乾燥機にかけます。

### 物品の補充

食器用洗剤や施設内各所に設置した消毒液、トイレ用品等の物品の補充をします。

### 曜日毎に余り時間で行う仕事(10:30~)

・常にアルコールボトルを持ち歩き、エレベーターのボタンやパソコン等を消毒します。

・男性入居者の電動髭剃りの清掃や充電をします。

・業者から届いたレンタル衣類を入居者ごとの袋から出し、名前を確認した上で畳み直します。

・入居者それぞれの体のサイズに合わせて、ズボン、上のウェアと下着、靴下の4点をセットします。

### 業務終了(11:30~)

母や妻と買い物に行ったり、妻からの頼まれ事をしたり、友人と趣味のゴルフにでかけたりします。



